彦根東高校新聞
速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

赤鬼魂いつまでも

140周年記念式典開催される

創立140年

▶140周年記念式典の様子

本校は今年で創立140周年を迎える。これに際して本日、ひこね市文化プラザにて創立140周年記念式典が開かれ、多くの御来賓、卒業生がご来席された。また現在本校に在籍する生徒、教員も出席した。

本校は1876年に創立された「第三大学区第十一番中学校区彦根学校」を起源とし、以降数回の名称変更ののちに1908年に「滋賀県立彦根中学校」（以下彦根中学校）と改称され、1949年に現在の彦根東高等学校となり今年で創立140年を数える。

この式典は三日月大造滋賀県知事をはじめ、およそ60名の御来賓と彦根中学校時代の卒業生を含む本校の卒業生が120名ほど列席された。

会場ロビーでは列席者に創立140周年記念トートバッグや記念誌などが配布されたほか、全日制・定時制各課程のパネル展示、創立120年史の展示販売、新聞部によるぎんにゃんグッズ販売も行われた。

式典では吹奏楽部によるファンファーレ演奏や、国歌・校歌斉唱、青木靖夫校長先生による式辞、御来賓による祝辞、祝電披露、生徒会長の小山真矢君（2－2）の生徒代表挨拶などののち、旧校歌紹介として「彦根中学校校歌」と応援歌を本校生徒が斉唱した。また式典後には理化学研究所理事長の松本紘さんを講師に迎え、記念講演も実施された。

式典当日の午前中には本校で生徒会、ハンドボール部、女子バトミントン部による校内見学も行われた。

◀現在の彦根東高等学校は、旧彦根藩邸跡に位置している。（写真は第一本館）

1949年（昭和24）　1905年（明治38）

▲現在の彦根東高等学校の校章（左）と、彦根中学校およびその前身である滋賀県県立第一中学校の校章。現在の校章は亀甲型の六角形を組み合わせたもので、1948年に当時彦根高校2年生の藤田正治さんが考案された。

彦根東高校新聞
速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

140周年記念式典

▶松本紘先生は「科学力と日本」と題されて講演された。

記念講演行われる

理化学研究所理事長　松本　紘先生

創立140年

10月16日にひこね市文化プラザグランドホールにて創立140周年記念式典が挙行された。その後行われた創立140周年記念講演では、京都大学前総長で現在は理化学研究所理事長を務めておられる松本紘先生が「科学力と日本」と題して講演された。

松本紘先生は科学とこれからの世界について講演された。

先生は夏目漱石など数々の偉大な先人の言葉をもとに「非科学的なことをすぐに非科学と言わず、『未科学』を見つけるのが本当の科学である」と話され「好奇心を持って、多様化、複雑化している色々な学問に手を出してほしい」と述べられた。また「細分化されている現在の学問を統合していく人材が必要だ。多くの知識人は幅広い教養を身につけて物の本質を見極めることが必要だ」と話された。

最後に先生は「4ガクの勧め」として「学力・額力・顎力・楽力が必要だ」と話され「これを若い時から培ってほしい」と纏められた。

◀講演についての質問をする生徒

新しいものを創ることで伝統を守ってほしい
田原総一郎さん

▶幼少期の思い出や地域について話された。

10月８日から10日にかけて彦根市で行われた「七曲りフェスタ」の10日に行われた「田原総一郎さんを囲む会」で「七曲りと私」と題して講義されたジャーナリストの田原総一郎さんは本校の創立１４０周年に関して「彦根東高校は井伊家の藩校時代から長い伝統を守り続けている。新しいものを創ることで伝統を守っていけると思うので、これからも頑張ってほしい」とエールを送られた。